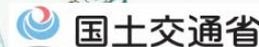


# 路線バスとプロバスケットボールクラブが連携した利用促進の取組(熊本県熊本市)

## スポーツ×交通



### 事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】バス×バスケット共創プラットフォーム
- 【実施主体】熊本都市バス株式会社
- 【共創パートナー】熊本バスケットボール株式会社 (スポーツ)バス5社共同経営推進室

### 地域課題

これまで公共交通のアナウンスや連携が十分でなかったこともあり、現状試合会場には自家用車による来場が主となっている。結果的に試合会場の駐車場スペースが限られており、試合日当日は会場周辺の交通渋滞も引き起こしていることもあって、潜在的なファンはいるものの、試合会場への集客力等が課題となっている。

### 実証事業の内容

桜町バスターミナルから熊本ヴォルターズのホームアリーナ等までの路線バスについて、運営会社と連携し、試合の開始・終了時間に合わせた増便(実証実験臨時バス運行)を行う。その上で、路線バス事業者・熊本ヴォルターズの両者による情報発信を行い、今般、公共交通とヴォルターズが連携して公共交通への利用者転換策に取り組む。

### 今後の展開

「①試合時間・会場に合わせた実証実験臨時バス運行」は、本実証事業の結果を踏まえ、路線バスの定期路線として、または、試合日の臨時運行としての定着化を検討していく。目的施設における効果・メリットを踏まえ、運行に対する協賛・協力の可能性も模索する。

「②バス・バスケット双方による情報発信」は、①と合わせた定着化を図るとともに、他業種・他分野の展開を検討する。

### 事業実施区域



### 事業体制

